

石川県 食文化・観光分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

食文化・工芸・自然などの地域資源を核とする食文化・観光産業

【該当する業種】

観光関連産業、農林水産業、食品関連産業、伝統工芸関連産業等への波及効果を有する裾野の広い産業領域

【特定の理由】

食文化・工芸・自然等の資源集積を活かした地域産業の持続的成長を図るため

2. 対象エリア

県内全域（金沢・能登・加賀・白山4地域）



3. 目指す姿（目標）

(1)現状の整理

- ・市場が拡大する中、食文化・工芸・自然等の地域資源を活かす好機にある
- ・金沢に加え能登・加賀・白山が独自の魅力を有し、成長余地がある
- ・高付加価値市場に適合する本物の魅力を有し、付加価値増の伸びしろがある

(2)目指すべき目標(目標)

- ・民間設備投資額 約2,700億円(精査中)
- ・付加価値増加額 約9,100億円(精査中)
- ・産業人材育成数 約1.4万人(精査中)

※上記数値は県が策定するクラスター計画4分野の合計値

4. 勝ち筋

(1)基本戦略

- ① 食文化を活かした石川ならではの体験価値創出（高付加価値化）
- ② エリアブランドの深化による選ばれる地域づくり
- ③ 食・工芸・もてなし等を支える技の継承と人づくり
- ④ 持続的成長に資するDX推進と新事業創出、市場・販路開拓

(2)目指すべき姿

石川ならではの食文化を核とした高付加価値な体験が各地域の個性とともに国内外から選ばれ、人材・収益・投資が地域内で循環し、持続可能で競争力の高い食文化・観光産業クラスターを確立

5. 政策手段

(1)取り組みに向けた課題

- ・地域資源の磨き上げ、収益化
- ・地域ブランドの確立とターゲット戦略
- ・技の継承と人材確保、生産性向上

(2)講じるべき政策パッケージ

- ① 食文化の魅力の更なる向上
- ① 食・工芸・宿泊等の連携によるコンテンツ造成
- ① 滞在拠点の高付加価値化
- ① 食材のブランド化と地産地消の推進
- ② 地域の個性・強みの再整理と重点化
- ② 魅力ある受け地づくりの推進
- ② ターゲットの明確化とプロモーションの展開
- ③ 料理人・職人・生産者の育成・継承
- ③ 観光人材(もてなし手・伝え手等)の育成・継承
- ③ 多様な人材の参画促進
- ④ DX・省力化による生産性向上
- ④ 異業種連携・新技術活用による新事業創出
- ④ インバウンド誘客、国内外の市場開拓 など